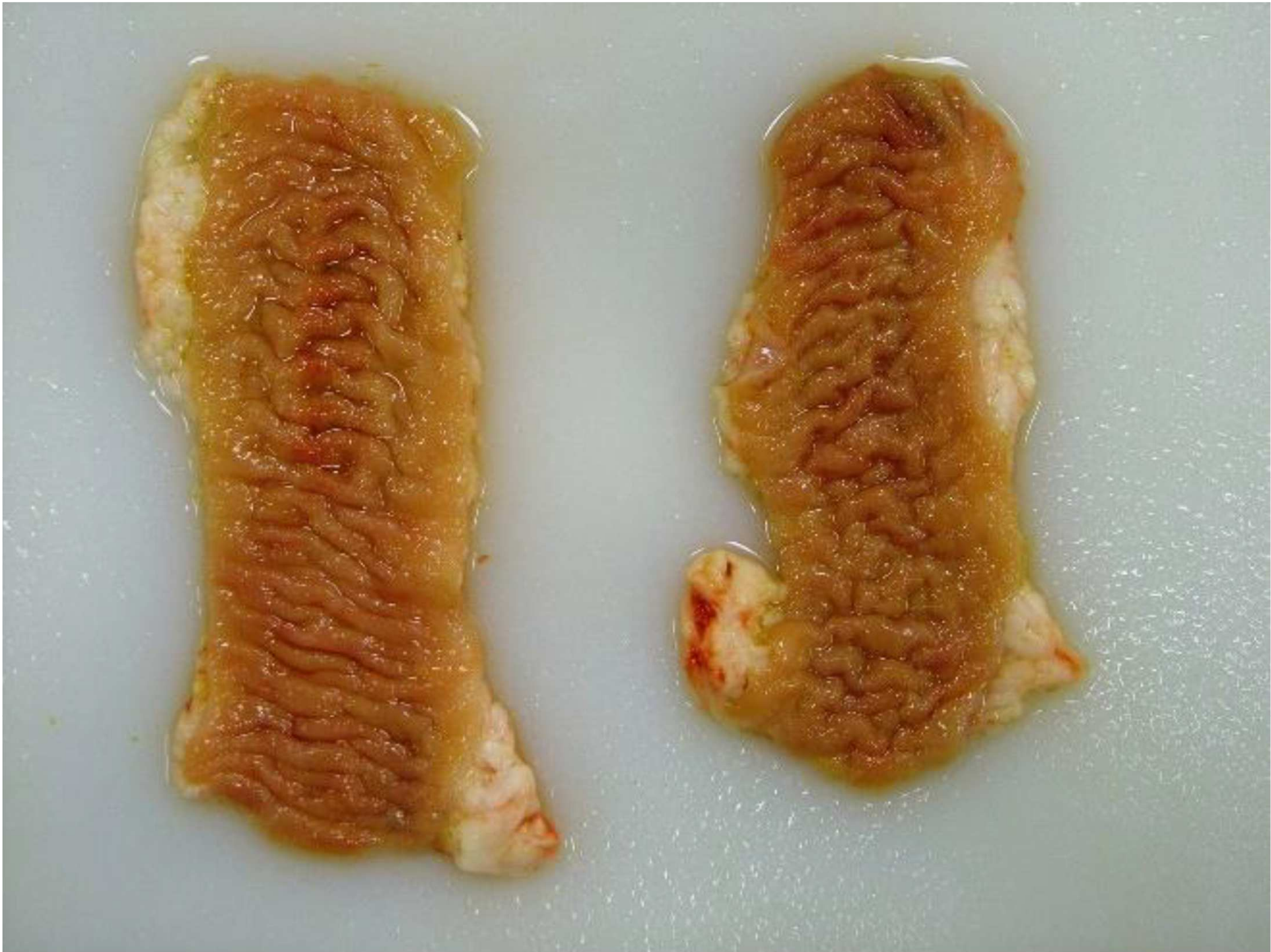


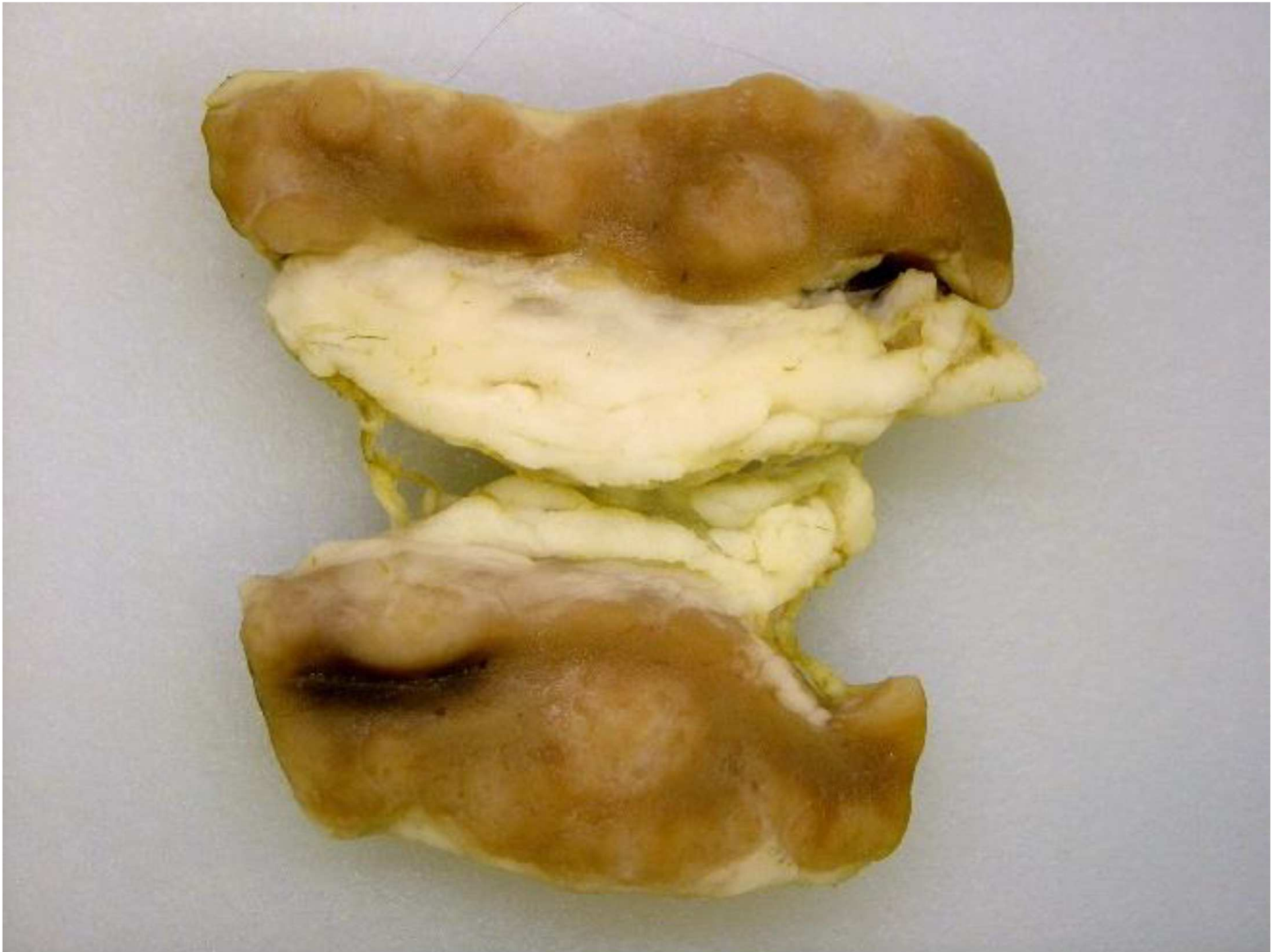
2019-5-1

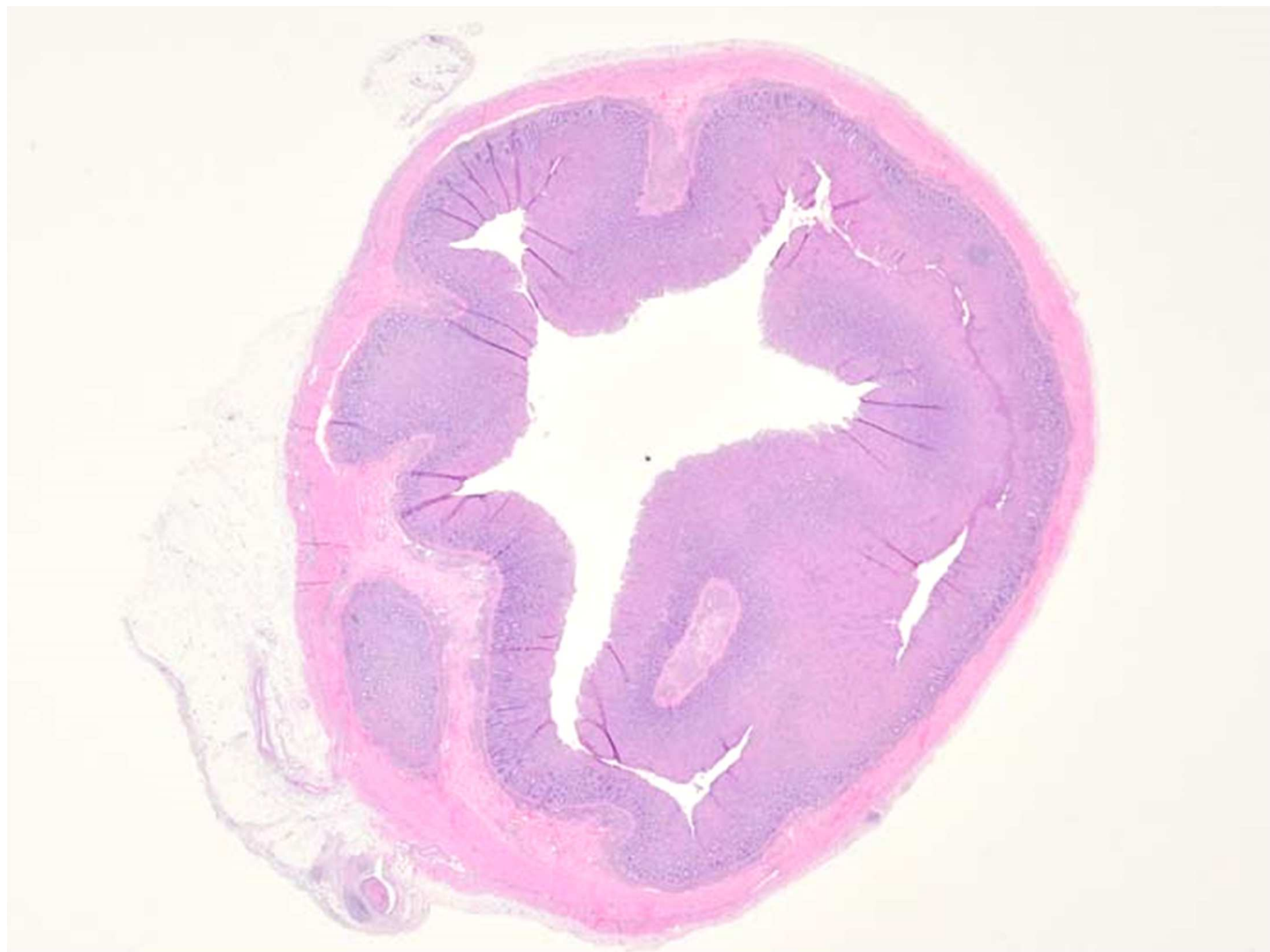
羊 小腸

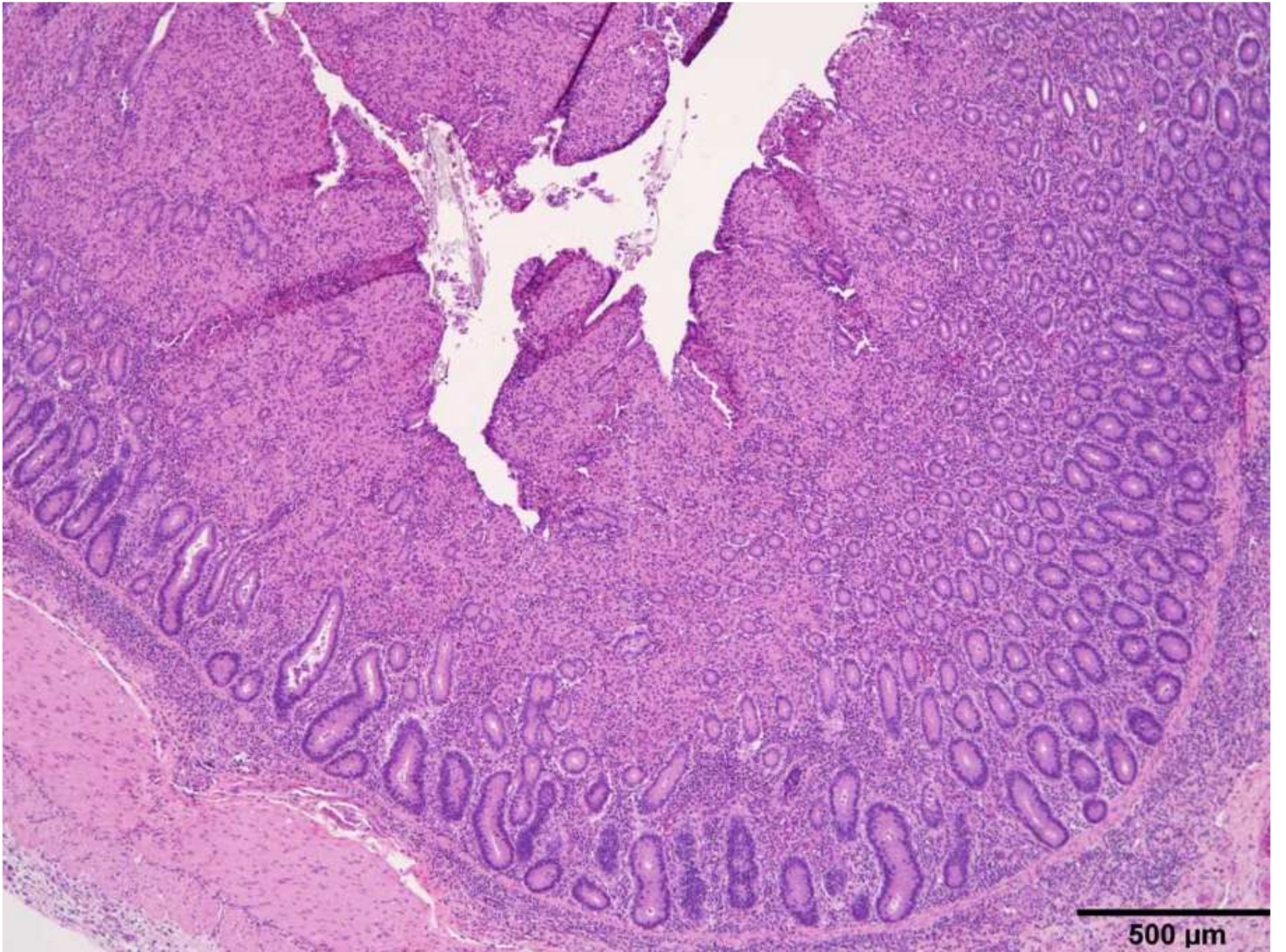
富野 里櫻子

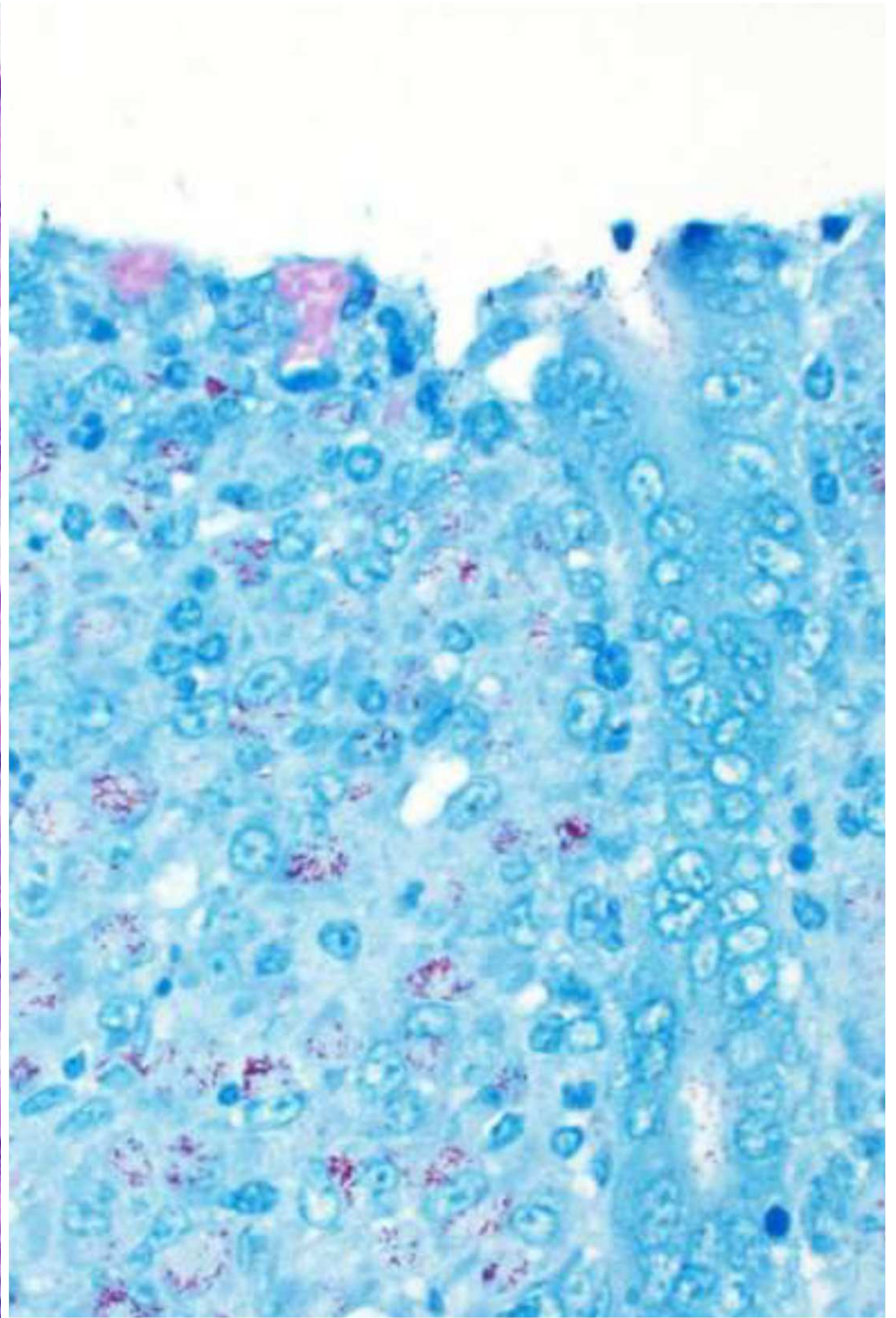
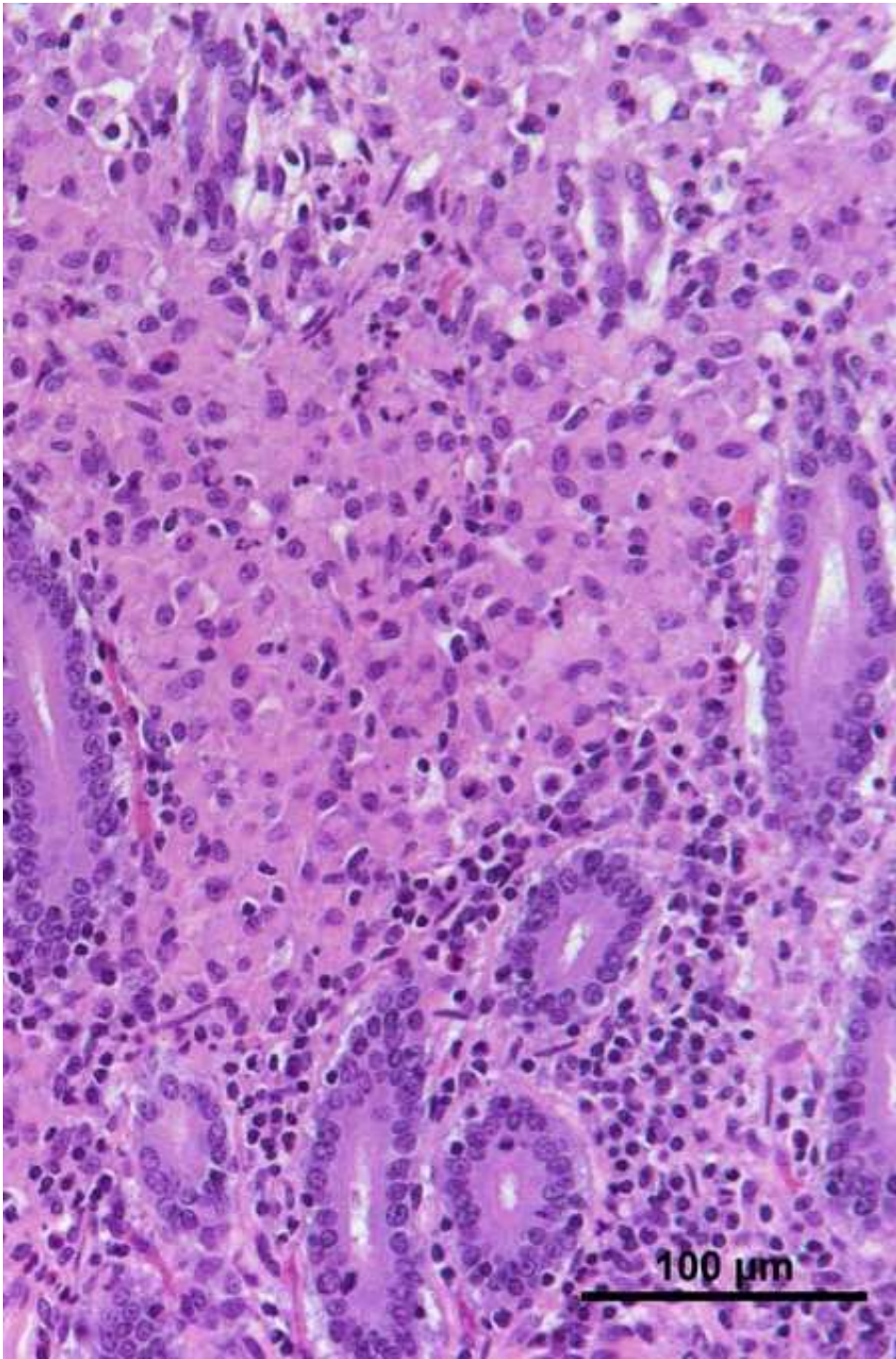
- 提出機関：New Mexico Department of Agriculture
Veterinary Diagnostic Services, USA
- 症 例：羊、3歳、雌、品種不明
- 病 歴：増体率が低く、冬季に軟便を排す。
腹側下顎部の皮膚に皮下浮腫が認められた。
- 実験室内検査：
 - ・PCR検査：腸間膜リンパ節、*Mycobacterium avium*
subspecies *paratuberculosis* (MAP) **陽性**
 - ・細菌培養：腸間膜リンパ節、MAP陰性

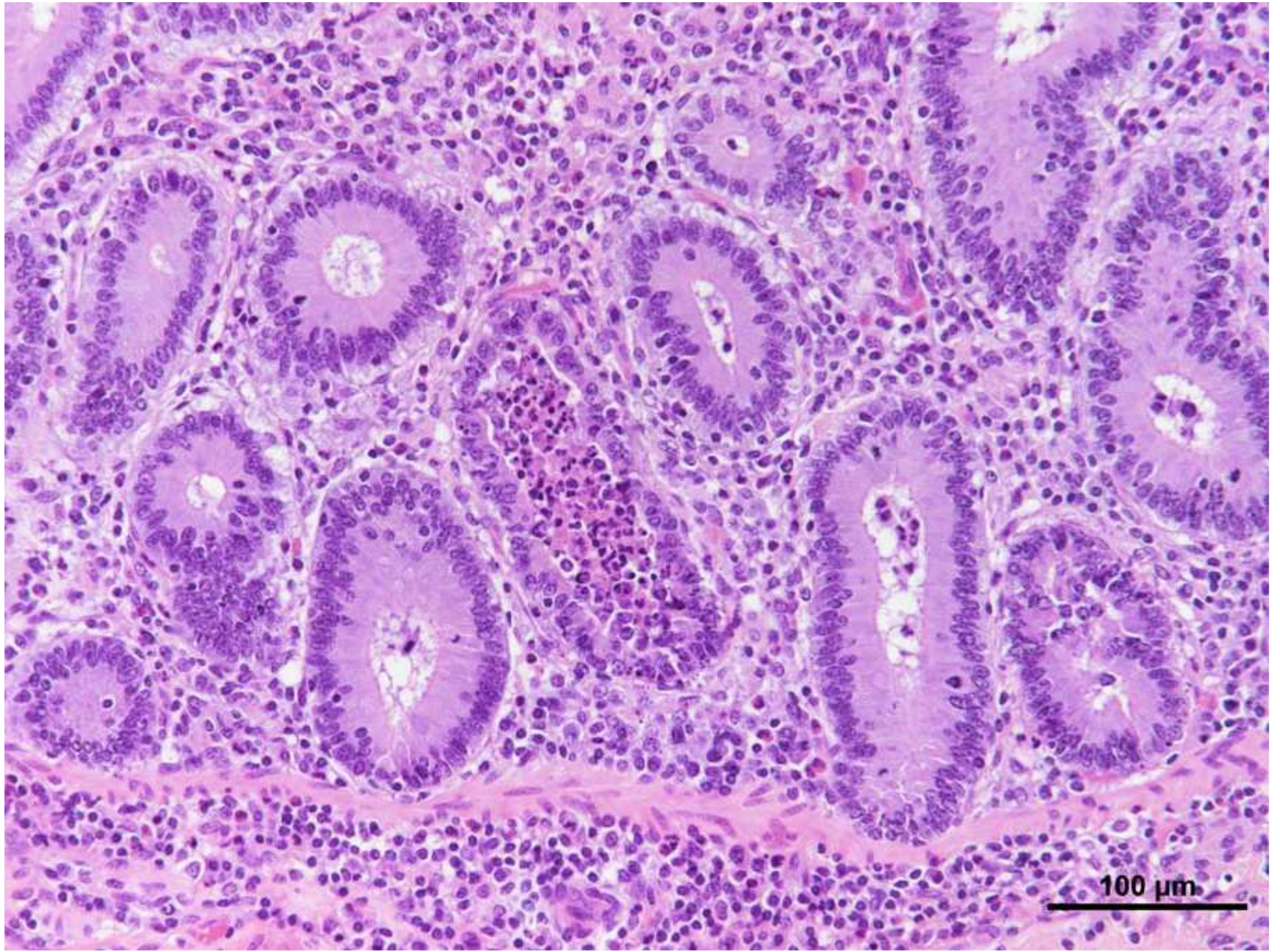


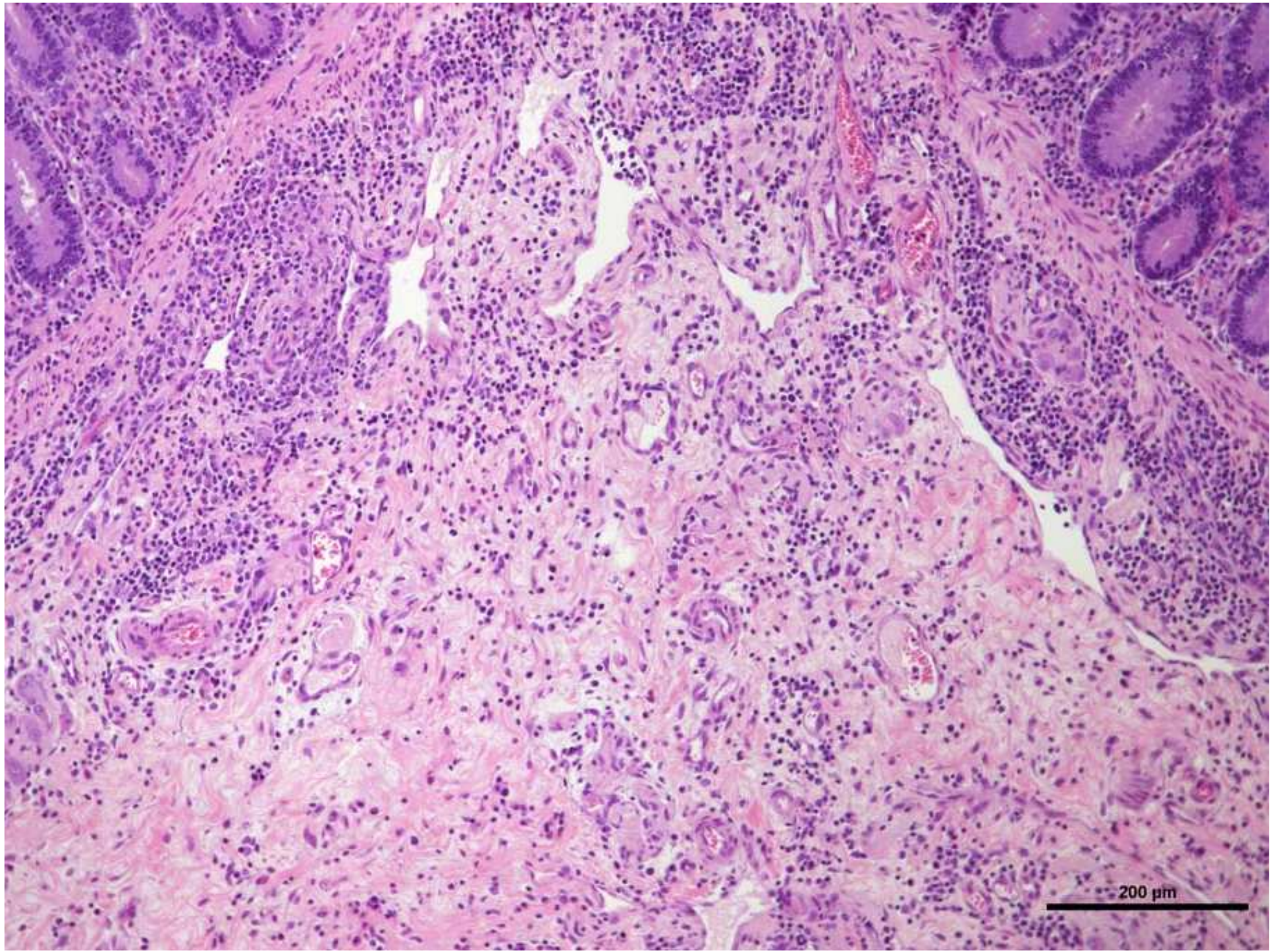


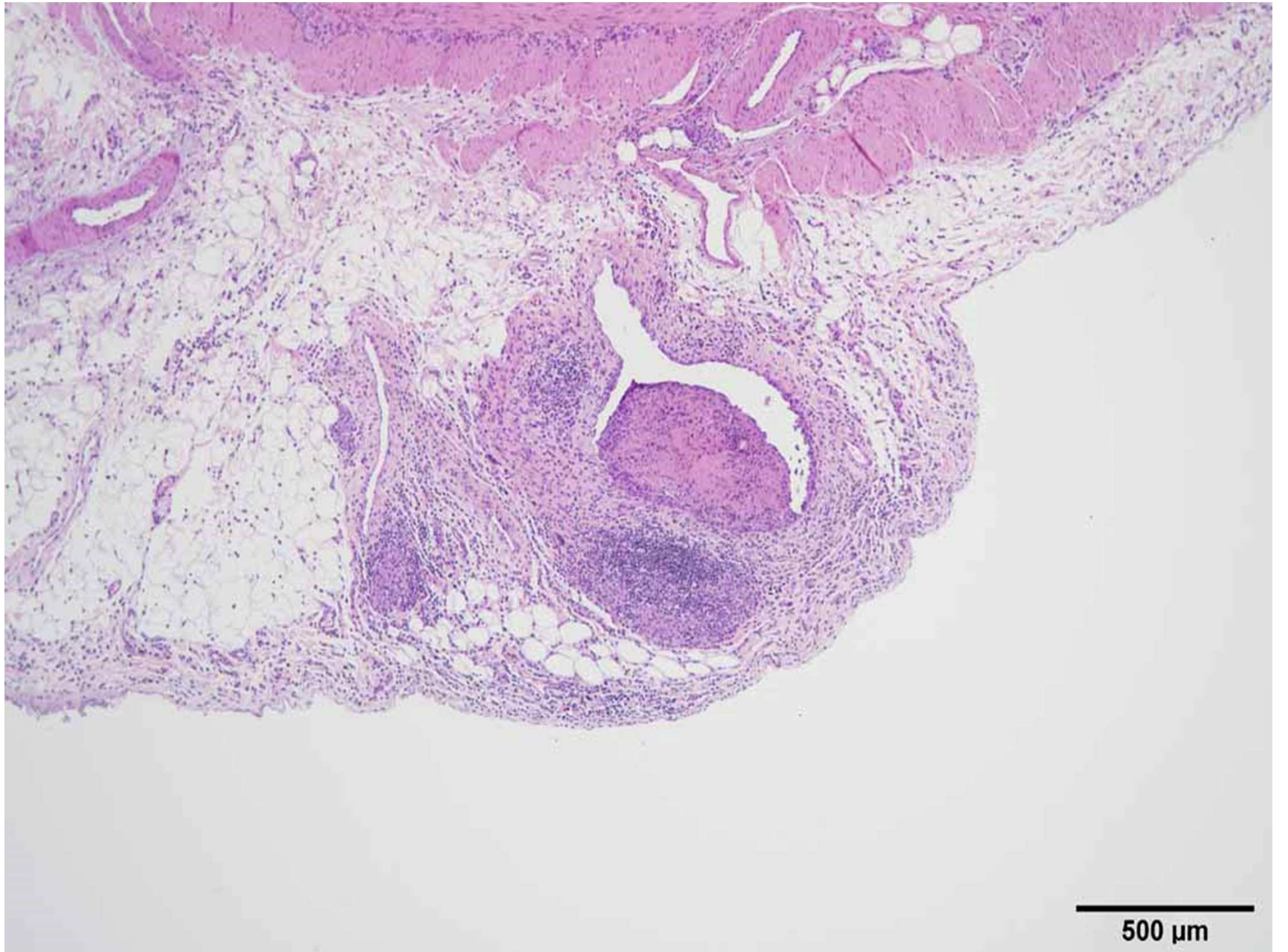












提出者の診断

小腸：腸炎、肉芽腫性、びまん性、重度。多数の細胞内抗酸菌を伴う。

病因：*Mycobacterium avium* subspecies *paratuberculosis*（ヨ－ネ病）

Small intestine: Enteritis, granulomatous, diffuse, severe with numerous intracellular acid fast bacilli; etiology consistent with *Mycobacterium avium* subspecies *paratuberculosis* (Johne's disease)

JPCの診断

小腸：顕著な絨毛と陰窩の消失、絨毛の鈍化と癒合、陰窩膿瘍と陰窩過形成を伴う、腸炎、組織球性、びまん性、重度。

および浮腫（多発性リンパ組織球性リンパ管炎を伴う）

Small intestine: Enteritis, histiocytic, diffuse, severe with marked villar and crypt loss, villar blunting and fusion, crypt abscesses and hyperplasia, and edema (with multifocal lymphohistiocytic lymphangitis).

提出者のコメント

- ・羊のヨーネ病における腸病変は、軽度、多発性で、腸間膜のリンパ管において肉芽腫性リンパ管炎、腸間膜リンパ節の腫脹、肉芽腫性リンパ節炎を呈することもある
- ・牛に比べ、羊の糞便や組織からの**MAP**の分離は困難である
- ・血清学的検査では、乾酪性リンパ節炎の原因菌である *Corynebacterium pseudotuberculosis* に対して交差反応を示す

JPCのコメント

- ・潜行性に感染が拡大し、羊、山羊、鹿、バイソン、サイなどの野生の反芻動物が保菌宿主となることが大きなリスク要因である
- ・**MAP**に対する感受性は品種間で差があり、ボーダー・レスター種やポールドーセット種のようにより長く持続感染する可能性のある品種の制御が環境汚染対策の一助となる



メリノ種



ボーダー・レスター種



ポールドーセット種

持続感染

長い

(出典：<https://ja.wikipedia.org/wiki/>)